

新害虫 チュウゴクアミガサハゴロモの発生に注意



本県の茶園で9月から徒長枝に白い綿のようなものが多く発生しています。チャでの被害は**国内初確認**となる害虫**チュウゴクアミガサハゴロモ**によるものです。発生・被害に警戒してください*。特に、手摘み園での被害に注意。

* 令和6年10月31日付 埼玉県病害虫防除所 特殊報第2号

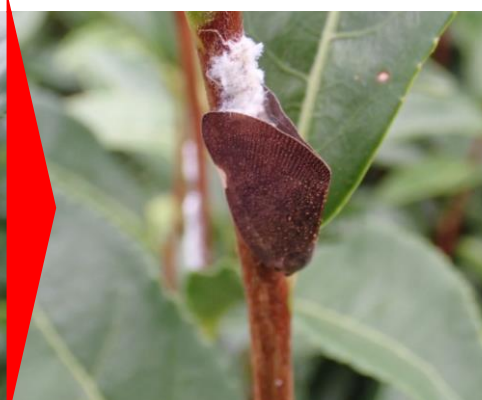
<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0916/bojo/tokushuho-r6-2.html>

① 形態・発生生態

- 成虫のはねの長さは約14mmで、茶褐～鉄さび色、はねの中央部に**三角形の白斑**が**一対**あります。
- 本種は**ヨコバイ類の仲間**で**チャハマキ**などの**ガの仲間**ではありません。成虫・幼虫ともに吸汁加害します。
- チャ枝条の白色のロウ物質で覆われた部分は**産卵痕（さんらんこん）**で、中に多くの卵があります。
- クワシロカイガラムシの雄まゆ**とは異なります。



白い毛状の物質で覆われた産卵痕



徒長枝に産卵する成虫



三角にはねを広げて休む成虫

写真 左と中央：チャでの加害が初めて確認されたときの写真
(埼玉県病害虫防除所 撮影)

② 発生・被害のようす（現在みられるもの）

- 成虫がチャ枝条に卵を産み付け、白色で毛状のロウ物質で覆われた産卵痕をつります。
- 産卵痕より上位の枝葉を衰弱させます。その後どのような被害となるかはまだはっきりしません。
- チャのほか、ブルーベリー、カンキツ、植木類などの庭木類などきわめて雑食性です。

③ 似ている他の害虫



アオバハゴロモ幼虫の寄生枝(左)と成虫(右)



クワシロカイガラムシ寄生枝(左)と雌成虫(右)



▶ 現時点での対策

- 他の害虫の発生だと誤解して不適切な農薬を散布しないようにしましょう。本種に登録のある農薬は、今のところありません。
- 産卵痕のある枝条が多い茶園では、秋整枝を励行し産卵痕を除去しましょう。刈り落とした枝は、可能であれば土壌混和するか焼却処理しましょう。

▶▶▶ お気軽にご相談ください 04-2936-1351

埼玉県茶業研究所 農業革新支援担当
茶業技術研究担当